

雲仙岳の火山活動解説資料（平成 21 年 1 月）

福岡管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は見られません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 1 月の活動概況

・噴煙など表面現象の状況（図 2）

噴煙は白色、極めて少量で、高さの最高は 50m でした。

・地震や微動の発生状況（図 2、図 3）

火山性地震の発生は 2 回（12 月：2 回）と少ない状態で経過し、火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図 4、図 5）

GPS 連続観測では、火山活動に起因するとみられる変化は認められませんでした。

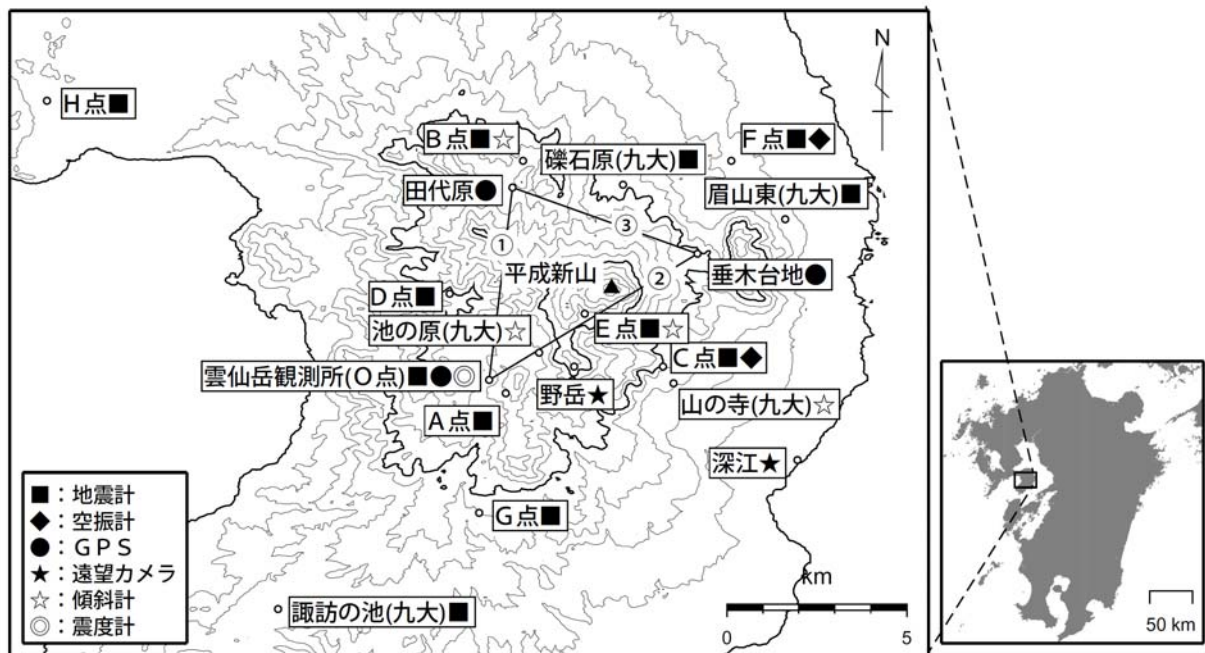


図 1 雲仙岳 観測点配置図

※ この資料の作成に当たっては、気象庁のデータ他、九州大学のデータを使用して作成しています。地図の作成にあたっては、国土地理院長承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』及び『数値地図 10mメッシュ（火山標高）』を使用しています（承認番号：平 20 業使、第 385 号）。

この火山活動解説資料は、気象庁ホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)、福岡管区気象台ホームページ(<http://www.fukuoka-jma.go.jp/>)でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料(平成 21 年 2 月分)は平成 21 年 3 月 6 日に発表予定です。

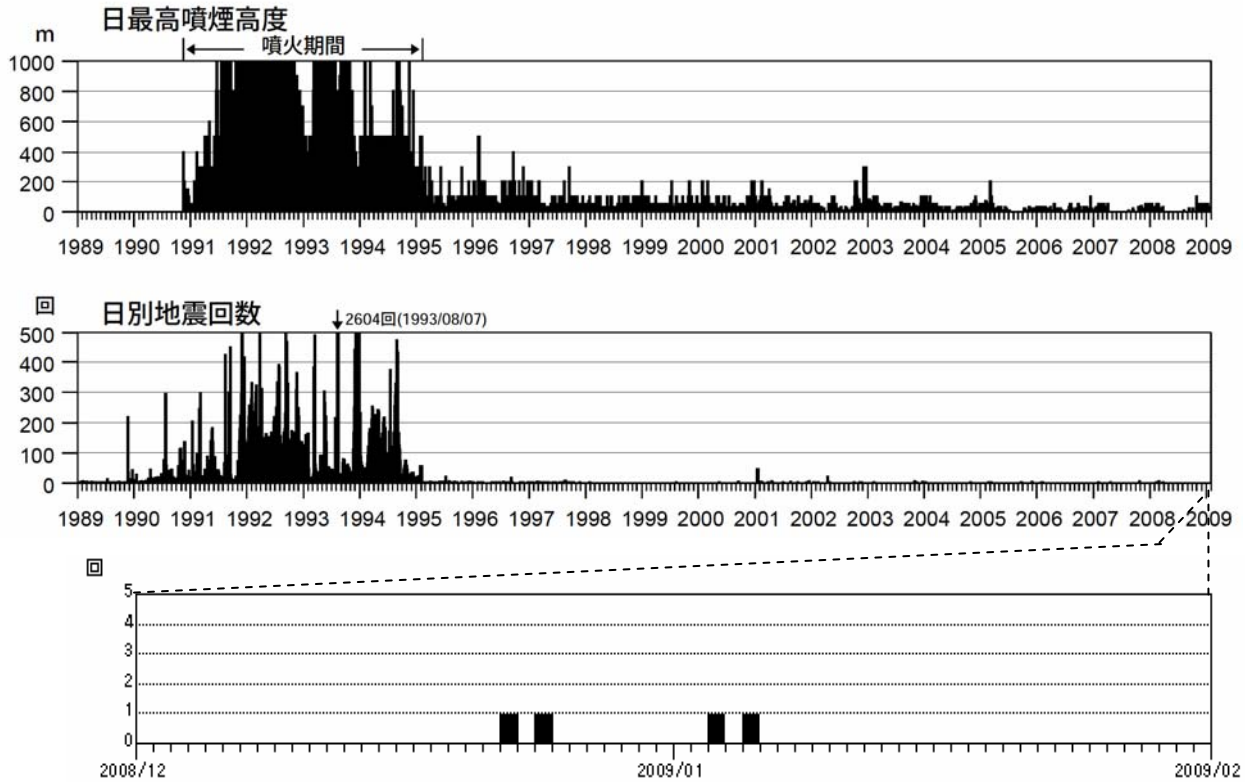


図 2 雲仙岳 火山活動経過図（1989 年 1 月～2009 年 1 月）

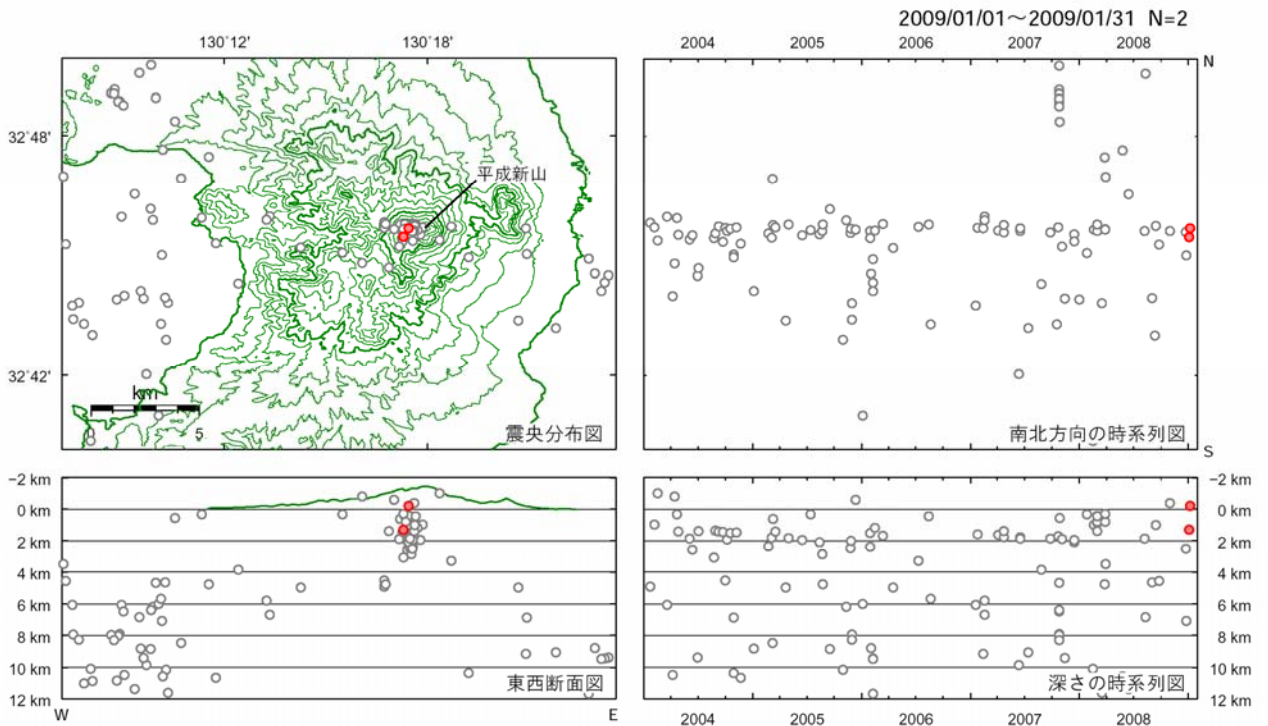


図 3※ 雲仙岳 震源分布図（2004 年 1 月～2009 年 1 月）

今期間求まった震源は、これまでも発生している平成新山直下に分布しました。

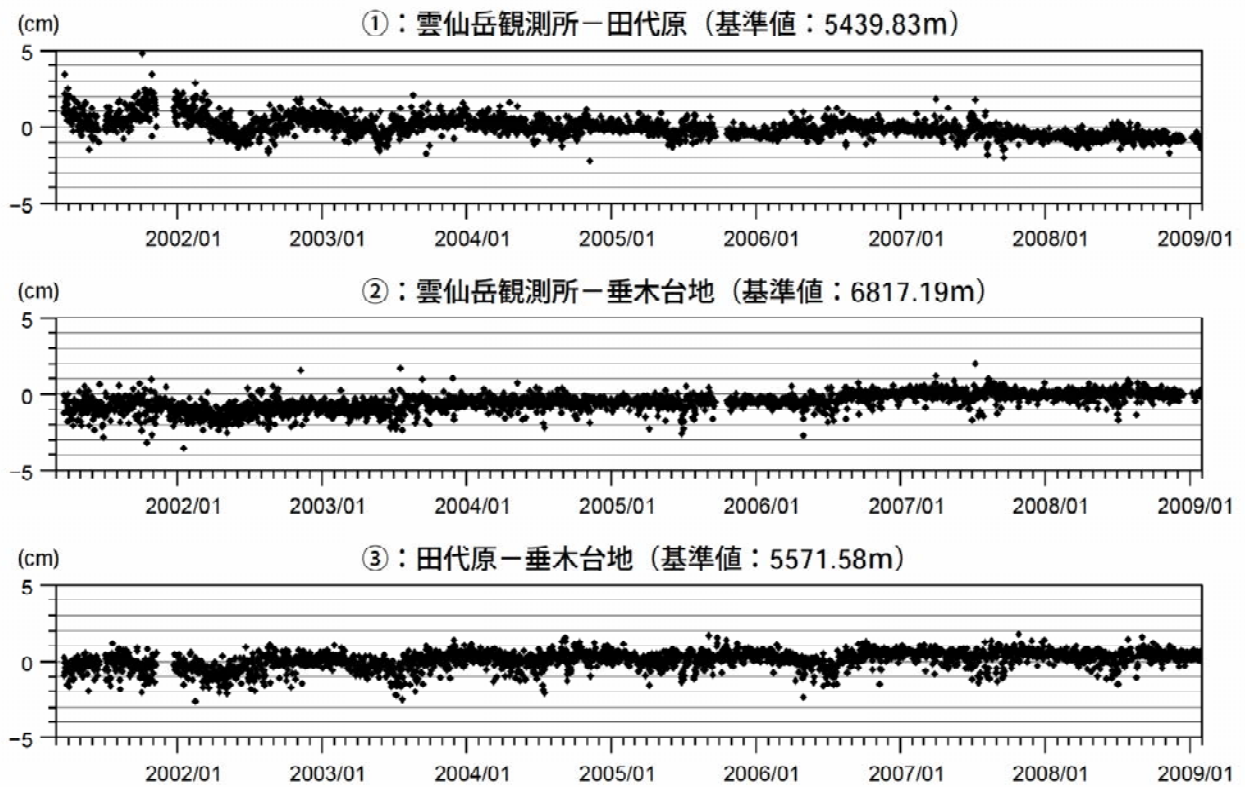


図 4 雲仙岳 GPS 連続観測による基線長変化 (2001 年 3 月 20 日～2009 年 1 月 31 日)
火山活動に起因するとみられる変化は認められませんでした。
この基線は図 1 の①～③に対応しています。